



川村ひろあき県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

9月県議会一般質問



県の施策を質問する川村博章県議

総武線の運行本数減少

川村議員 最近のJRのダイヤ問題では、今年3月からの京葉線の朝夕の快速廃止、また9月からの快速復活が大きな反響を呼んだよう

に、交通問題は県民の日常生活に密接にかかわることから、県民の関心が高くなっている。千葉市を始め、千葉県西部は東京都心部への通勤

通学者などの鉄道利用者が多く、鉄道の利便性向上に大きな期待が寄せられている。しかしながら、コロナ禍の影響、少子高齢化社会から

再質問 川村議員 JR総武線の利用者、本数ともに減っているとの答弁だった。それならば、利用者にはただ本数が減った不便

を強いるのではなく、少しでも利便性の向上を図るようすべきではないか。JR総武線とともに、千葉県から東京都心へアクセ



千葉駅への乗り入れが望まれる東京メトロ東西線電車

住んで良かったと思えるまちづくりに力を注いでいる川村博章県議(千葉市花見川区選出)は9月定例県議会に登壇し、鉄道や交通の移転などについて県執行部に質問しました。県西北部の住民にとって総武線はなくてはならない路線ですが、川村県議は一層、利便性を確保するため、東京メトロ東西線電車の千葉駅延伸と総武快速線の幕張駅停車を、JRへしっかりと働きかけてほしいと要望しました。川村県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

の影響、テレワークの進展などから鉄道利用者が減少し、これに伴い、総武線の運行本数も減少しているのではないかと懸念される。そこで川村が、平成30年度及び令和5年度のJR総武線の利用状況はどうか。

また、平成30年度末及び令和5年度末時点における、平日1日当たりの上下線の運行本数は、総武快速線が、284本から276本へと2.8%の減少、総武線各駅停車が、484本から463本へと4.3%の減少となっており

JRへの働きかけ要望

川村県議

また、同時期の総武快速線と各駅停車の運行本数の状況はどうか。
総合企画部長 まず、JR総武線の利用状況についてですが、千葉・東京間及び千葉・御茶ノ水間の1日あたりの利用状況は、平成30年度が約43万人、令和5年度が約37万人と約14%の減少となっています。

川村ひろあきプロフィール

経歴

- ・1964年2月21日千葉市生まれ
- ・千葉大学教育学部附属小学校卒業
- ・千葉大学教育学部附属中学校卒業
- ・早稲田実業学校高等部卒業
- ・神戸大学経済学部卒業
- ・早稲田大学大学院 政治学研究科修了
- ・川崎重工業株式会社宇宙開発室勤務
- ・外務大臣秘書・代議士秘書
- ・千葉市議会議員(5期)
- ・千葉市議会議長(第78代)

現職

- ・県議会 商工労働常任委員会副委員長
- ・千葉市レクリエーション協会会長
- ・日本善行会千葉県支部長

●県政・市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

川村ひろあき 事務所

〒262-0005

千葉市花見川区こてはし台3-13-4

TEL 043-250-1021

FAX 043-250-0071

ホームページもご覧ください... <https://www.kawamura.tv>

に対し、期成同盟を通じて要望していただきたい。

花見川に釣台や耕作地 なくならない不法占有

川村議員 花見川流域などの魅力を高める取り組みとして、「千葉うみさとライン」プロジェクトも始まっております。今後、「花見川」の魅力が大いに広がることを期待している。

一方で、釣台や耕作地の不法占有が見られ、過去には釣台等を撤去する簡易代執行が一部区間で実施されたこともあったが、その上流側を中心に、未だ不法占有が散見される。

そこで、川村議員は、花見川川敷の不法占有対策について、県はどのように取り組んでいるのか。

県土整備部長 都市部を流れる花見川は、多様性に富んだ景観や恵まれた環境の利活用が期待される河川であり、良好な河川空間を形成する上で不法占有対策は重要であると認識しています。

本年6月の調査において、釣台17件、耕作地1件などを確認しており、県では、速やかな撤去を求める警告書の掲示や、河川パトロール等において接触した際に撤去指導を行ってきたところ

です。

また、新たな不法占有を防止するため、看板の設置による啓発も行っており、引き続き、河川の適正な利用がなされるよう取り組んでまいります。

要望 川村議員 未だ花見川の釣台や耕作地の不法占有の問題が解決していないようである。

往時に比べ減少しているとのこと、当局の努力に感謝するが、花見川が自然豊かな良好な河川空間として、市民、県民の憩いの場となるよう問題解決に努めるよう要望する。



再質問を行う川村県議

移転・建て替えの幕張駅前交番 室内広くゆとりたろう

川村議員 幕張駅前交番の移転建て替えについては、本年度は設計業務、来年

度に建て替え工事をするとうかがっている。

幕張中学校区第11地区連

花見川区の玄関口にふさわしい交番整備を求める要望書が提出されるなど、どのよ

うな規模で、利便性の向上が図られているかなど大きな期待が寄せられている。

そこで、川村議員は、千葉西警察署幕張駅前交番はどのような施設になるのか。

警察本部長 幕張駅前交番については、現在、移転建替工事に伴う設計業務を進めているところです。

新交番の特徴としましては、旧交番と比較して延べ床面積は約2.5倍となり、狭隘が解消されるほか、スロープ設置によるバリアフリー化、相談・打合せスペースとしてのコミュニティールームの設置など、来訪者の利便性向上を図っております。

要望 川村議員 千葉西警察署管内幕張駅前交番については、延べ床面積が約2.5倍になるなど期待が持てる内容。ぜひ、今後も、地域住民と連携しながら、花見川区の玄関口の交番として誇れる交番となるよう設計していただきたい。

また、幕張駅の南口から

北口へ移転することで、JR総武線海側の住民の中には不安を覚えている方もいる。こうした方々への配慮もお願いする。

地域に寄り添った警察活動は地域の安心・安全に大きな役割を果たしており、その地域警察活動の拠点である交番は大変重要な施設

だと思ふ。引き続き、交番が地域住民にとって、最も身近で頼りがいのある「安全・安心の拠り所」として地域住民の声を反映していただくよう要望する。

作新台交番の業務花見川交番で対応

川村議員 千葉北警察署作新台交番について、現地建替工事中、隣接する花見川交番において事件・事故に対応することだが、このことについて地域住民にどう周知しているのか。

警察本部長 作新台交番の工事期間中は、同交番の業務を花見川交番に移転する旨の広報ビラを工事現場の仮囲いに掲示しているほか、同様の内容についてミニ広報紙や県警ホームページに掲載しているところです。

また、巡回連絡により近隣住民の皆様に周知しております。

ロボットやICT導入を 介護人材確保へ必要

川村議員 大幅な増加が見込まれている高齢者を支える地域の介護サービス事業について、県の課題認識はどうか。

健康福祉部長 高齢者人口の急増に伴い、医療・介護双方のニーズを有するなど、様々なニーズを持つ高齢者が増加することが見込まれ

る中、地域において必要な介護サービスを受けられる体制を確保していくことが重要である。

一方で、介護人材の不足が見込まれることから、限られた人員で介護サービスの質を維持するため、業務の効率化や職員の負担軽減を進めていくことが課題である

と認識しています。

県としては、介護業務の性質や専門性等に基づく業務仕分けによる役割分担の見直しや、負担軽減のための介護ロボット・ICT導入など、介護サービス事業者が行う業務改善の取組への支援が引き続き必要と考えています。

川村議員 私立高校の生徒数の割合が増えていることについて、その要因をどのように考えているのか。

総務部長 私立高校については、国の就学支援金や県の授業料減免制度の拡充により、保護者の経済的負担の軽減が図られているところで

あり、私立高校を選択しやすい環境が整ってきたことが、生徒数増加の要因の一つと考えられます。

また、私立高校では、独自の建学の精神に基づき特色ある教育を展開するとともに、進学指導やスポーツ活

動、文化活動など多面において、時代のニーズに応えながら教育の充実に努め、生徒にとって魅力的な学校づくりに取り組んでいます。

県としては、県民の多様な教育ニーズに応えられるよう、引き続き私学教育の

支援に取り組んでまいります。

要望 川村議員 本県でも、私立小学校を設立したいという法人が現れた際には、ぜひ推進するよう要望するとともに、引き続き小学校を含め、私立学校への支援を要望します。